

経済・金融フラッシュ

No.07-070 2007/09/10

8月マネー関連～マネタリーベースは2006年2月以来の前年比プラスに

ニッセイ基礎研究所 経済調査部門 シニアエコノミスト 矢嶋 康次

TEL:03-3512-1837 E-mail:yyajima@nli-research.co.jp

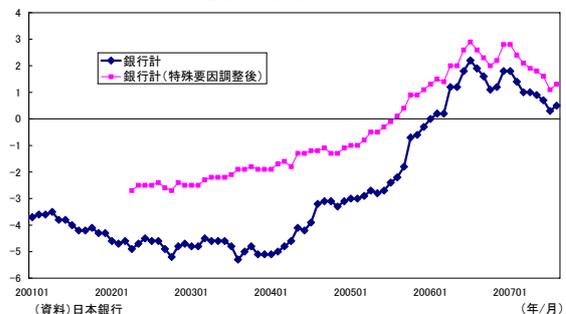
1. 貸出動向：8ヶ月ぶりに伸び率高まる

日本銀行が9月10日に公表した貸出・資金吸収動向等によると、8月の総貸出（平残、銀行・信金計）は前年比0.5%と19カ月連続のプラスとなった。伸び率が8ヶ月ぶりに前月よりも高まった（図表1）。社債調達から銀行借り入れに振り替える動きがあったようだ。

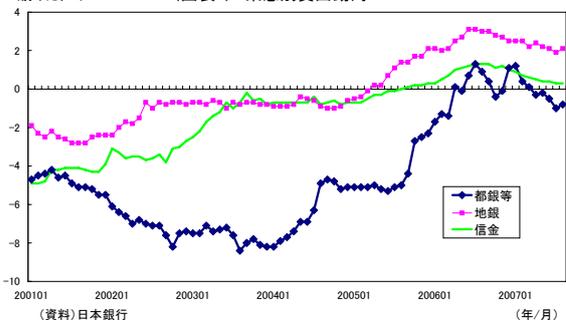
業態別には、地銀（同2.1%）が比較的堅調を維持しているが、都銀等は先月よりはマイナス幅を縮小させたが、同▲0.8%と5カ月連続で前年比マイナスとなっている（図表2）。

貸出先別貸出金（8/31日公表、7月分）を見ると、法人向け貸出は7月▲0.8%と3カ月連続でマイナスとなっている（図表3）。資金用途では、運転資金が2006年2月以来のマイナスに転じた（図表4）。

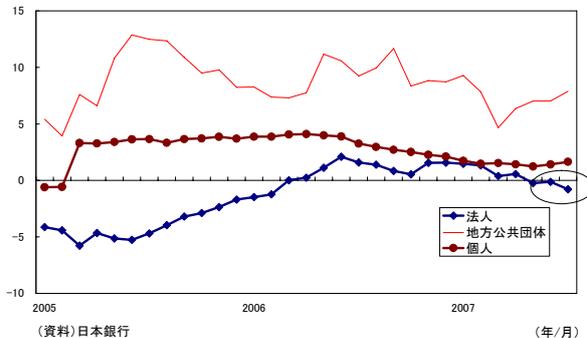
(前年比、%) (図表1) 貸出動向



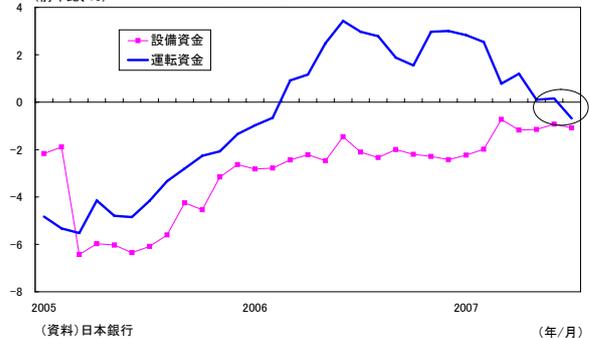
(資料)日本銀行 (前年比、%) (図表2) 業態別貸出動向



(前年比、%) (図表3) 貸出先別貸出金



(前年比、%) (図表4) 設備・運転資金の動き



2. マネーサプライ、マネタリーベース：マネタリーベースは2006年2

月以来の前年比プラスに

マネーサプライ統計（9/10 日公表）によれば、8月のM2+CDは前年比1.8%と4ヶ月ぶりに伸び率が低下した（図表5）。

普通預金から定期預金へのシフトが継続。M1が伸び悩む（同▲0.3%）一方で、定期預金を含む準通貨は同4.1%と高い伸びとなった。

また広義流動性は、投資信託などの高い伸びから、M2+CDよりも高い前年比3.7%となっている（ただし、前期比では2006年7月ぶりのマイナスとなっている）。

8月分マネタリーベース（9/4日公表）は、前年比0.7%と2006年2月以来、ひさびさにプラスに転じた（図表6）。

日銀券発行残高1.3%、貨幣流通高0.7%は比較的安定した動きとなっている。

当座預金残高は▲4.1%とマイナスだが、先月までの2桁マイナスから大幅にマイナス幅が縮小してきた（6月▲37.2%、7月▲27.5%）。

